



# 15 愛知県立東海樟風高等学校（東海市）

## 地域自主防犯活動活発化事業

### 実施結果報告書

1 団体名	愛知県立東海樟風高等学校
2 事業名	高校生とロボットによる駅前防犯活動
3 事業実施 結果	<p><b>(1) 活動の目的</b></p> <p>本校は愛知県内で唯一の総合情報科がある商業高校です。地域社会との連携を重視しつつ、生徒たちは情報技術の基礎から応用までを学び、社会に役立つスキルを養っています。教材としてドローンやロボットを導入し、先端のデジタル技術を学びますが、その技術を地域貢献に結びつける取り組みを試行錯誤していました。</p> <p>3年生の「課題研究」という授業の中に、ドローンやロボットを活用したプロモーション技術を学ぶデジタルプロモーション講座があり、選択した男子生徒12名が、地域社会への貢献を考えました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(ドローン・ロボットのプログラミング風景)</p> <p>生徒たちは、Kebbi（ケビー）というAIコミュニケーションロボット（以下Kebbi）のプログラミングに取り組み、防犯意識を高めるために地域自主防犯活動を実施することを希望しました。</p> <p>本校の最寄り駅である名鉄太田川駅は、名古屋市のベッドタウンとして近年急速に発展しており、人口の流入による犯罪の増加が懸念されています。このため、防犯意識の向上と地域の安全確保が急務となっています。</p> <p>本プロジェクトは名鉄太田川駅周辺を中心とした防犯PR活動を通じて、地域の防犯意識向上とコミュニティの強化を図ることを目的とし、犯罪のない安心・安全な地域社会の実現に貢献したいと考え、活動しました。</p>

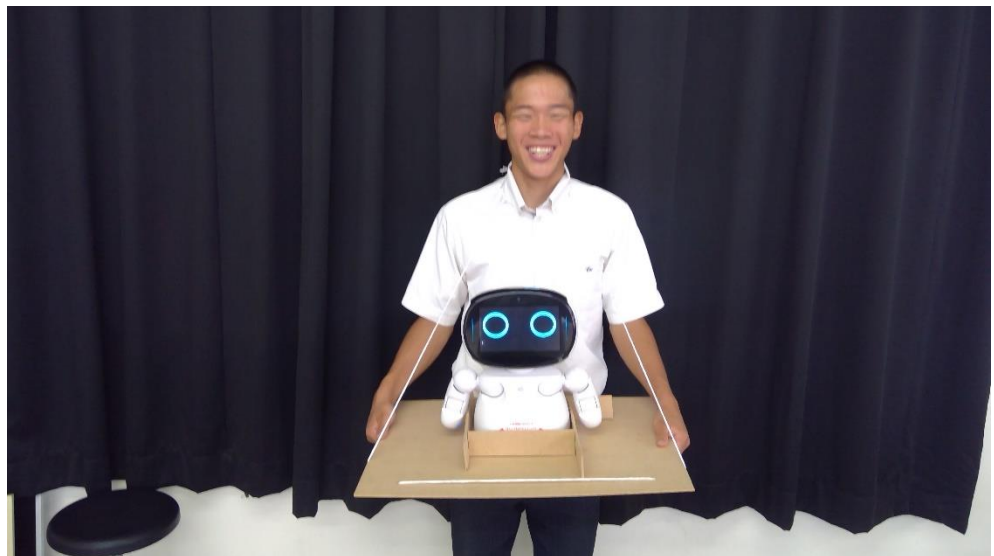
## (2) 活動概要

名鉄太田川駅周辺で啓発活動を実施するにあたり、簡易テーブルを設置し場所を固定して実施するのではなく、Kebbi を持って移動しながら実施する方法を考えました。

昨年度、名古屋市内で同様の啓発活動を実施した名古屋国際工科専門職大学にアイデアをいただき、駅弁を売る人が首から提げている立ち売り箱のような板を作成することから始めました。



(不慣れなノコギリを使って木工作業)



(完成)

名鉄太田川駅で、啓発活動をするにあたり、勝手に実施するわけにもいかず、まず東海市役所に相談しました。東海市総務部交通防犯課に企画を持ち込むと、東海警察署を紹介していただきました。

## ア. 自転車盗難防止の啓発活動

東海警察署管内では、本年5月末現在、自転車盗難被害が97件と前年同期比+23件と増加傾向であったため、自転車盗難防止の広報活動に参加することとなりました。

生徒たちは、課題研究の授業で、自転車盗難防止のメッセージをKebbiにプログラムすることとしました。また、プログラムの作成には、名古屋市にある名古屋国際工科専門職大学から、Kebbiプログラミングの基礎技術を学びました。



(Kebbiプログラミングを学ぶ様子)

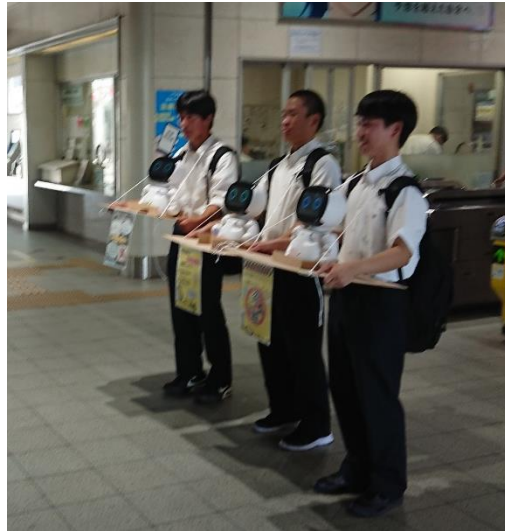
また、自転車盗難防止のメッセージは、生徒自身がインターネットを活用して情報を集めて作成し、同時に啓発ポスターを作成しました。このポスターは、Kebbiを乗せる立ち売り箱のような板の前面に貼りました。



(自転車盗難防止のポスター)

場 所：東海市大田町後田 52 名古屋鉄道太田川駅改札前付近  
参加者：愛知県立東海樟風高等学校生徒、名古屋鉄道太田川駅員  
東海警察署生活安全課員

生徒たちは、担当警察官の指導の後、3人一組となり、移動しながら自転車の盗難防止を呼びかけ、東海警察署が用意した防犯グッズを配布しつつ、地域住民の防犯意識の向上を図る啓発活動を実施した。



(自転車盗難防止啓発活動の様子)

#### イ. 自動車盗難防止の啓発活動

愛知県内で1～6月、自動車盗難被害が425件（前年比97件増）発生し、都道府県別で全国ワーストでした。9月に入り、東海警察署の担当者から、自動車盗難被害防止の啓発活動を実施してほしいとの連絡を受け、生徒たちもやる気満々で取り組みました。

生徒たちは自動車の運転をしたことがないため、あまりピンと来ていない様子でしたが、東海警察署の担当者より被害に遭いやすい車種や対策についてアドバイスをいただき、そのうえでインターネットや生成AIを活用してKebbiのプログラミングをし、啓発ポスターを作成しました。

東海警察署の担当者からのアドバイス

被害の多い車種：プリウス、アルファード、ランドクルーザー  
レクサスLX

防犯対策として：ハンドルロック、タイヤロックに関すること

※生徒が調べた事に関して



(自動車盗難防止のポスター)

場 所：東海市荒尾町山王前 60 番地 アピタ東海荒尾店

参加者：愛知県立東海樟風高等学校生徒、東海警察署生活安全課員

生徒たちは、担当警察官の指導の後、アピタ東海荒尾店の出入口三か所に分かれて、啓発活動を実施しました。

太田川駅改札前に比べて、年齢層に違いがありました。時間帯や場所もあり、ご年配や主婦が多く、高校生の元気な男子に警戒する姿が見られました。しかし、親子連れの子どもが、Kebbi に興味を示して足を止めてくれ、母親が、東海警察署が用意した防犯グッズを笑顔で受け取る姿も見られました。



(自動車盗難防止啓発活動の様子)



(自動車盗難防止啓発活動の様子)



(担当警察官から指導を受けている様子)

<p>4 成果と課題 及び今後の 取り組み</p>	<p><b>(1) 事業実施の成果及び課題</b></p> <p><b>ア. 事業実施の成果</b></p> <p>太田川駅改札前付近において、自転車盗難防止や防犯意識の重要性を広く周知することができました。特に Kebbi を活用した啓発は注目を集め、親しみやすい形でのメッセージ伝達に成功しました。</p> <p>生徒が「課題研究」で学んだ Kebbi のプログラミングやプレゼンテーション技術を活用し、地域社会での実践的な活動を経験できました。また、活動そのものが生徒の自信につながりました。</p> <p>生徒が地域住民や担当警察官と直接コミュニケーションを取ることで、地域全体で防犯意識を共有するきっかけを作ることができました。</p> <p><b>イ. 事業実施の課題</b></p> <p>今回の活動は名鉄太田川駅周辺及びアピタ東海荒尾店に限定されており、対象範囲が限られていました。他の地域にも同様の啓発を展開する必要があります。</p> <p>高齢者や外国人住民を含む多様な層に向けた啓発内容や方法が不十分でした。場所や時間帯における通行者の状況に合わせてターゲットを絞ることも必要だと感じました。例えば、視覚的にわかりやすい資料や多言語対応が求められます。</p> <p>活動中に活用した Kebbi のプログラム技術や啓発ポスターを、さらに高度化する余地があります。通行者の注目を集めるために、生徒の元気な声だけでなく、情報技術にも重点を置く必要があります。</p> <p><b>(2) 今後の取り組み</b></p> <p>今後も東海警察署や地域住民と連携し、防犯啓発活動を継続して実施します。次回は他の駅周辺や商業施設だけでなく、より広範囲での活動を計画します。</p> <p>高齢者向けには大きな文字や図解を使ったリーフレットを配布し、外国人住民には多言語対応の資料を準備します。また、動画やポスターをさらに改良し、より伝わりやすいメッセージの発信を目指します。</p> <p>さらに高度なロボットプログラミング技術を防犯啓発に活用します。また、Kebbi の機能を理解させ、より効果的なプレゼンテーションを行えるようにします。</p> <p>生徒が活動の企画・運営を主導する体制を整え、自ら地域社会に貢献する意識と責任感を育てます。また、「課題研究」の成果発表会で、他の学年や講座の生徒も参加しやすい仕組みを構築します。</p>
-----------------------------------	---